

世帯と人口

(5月1日現在)

世帯 42,656 (+173)
 人口 117,002人 (+125)
 男 60,113人 (+63)
 女 56,889人 (+62)

えひな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

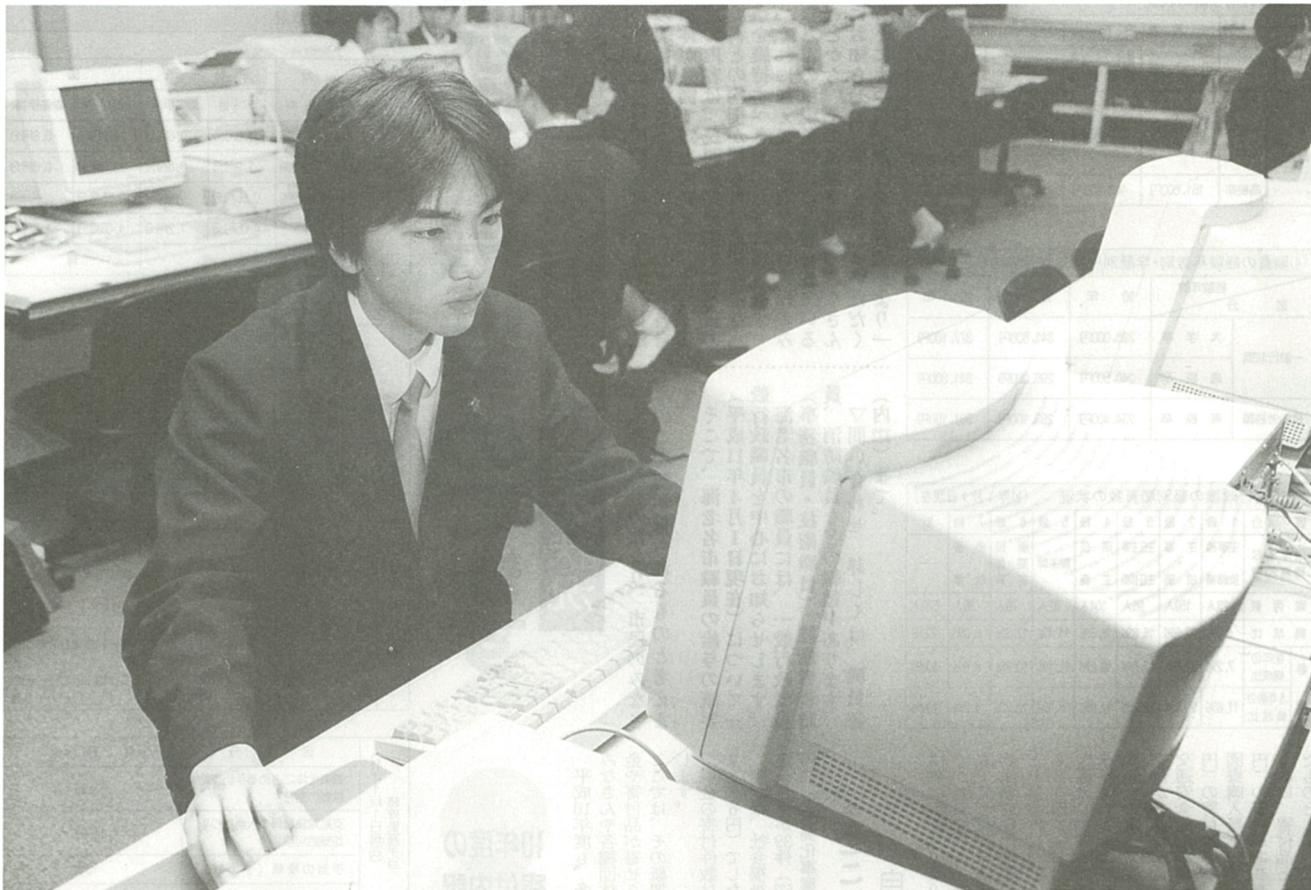
〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (0462) 31・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。



真剣なまなざしでプログラムを組む増渕さん

ひら アイデアが未来を拓く

パソコンでグランプリ

私たちの周りで身近に使われることが多いパソコン。増渕覚さん(海老名高校2年)は、このパソコンを使い、中高生が学校生活の中で個人データーや、試験勉強の計画、部活の予定など学年生活のいろいろなことがらを管理できるソフトウェア「生徒手帳」を作成し、去年の第15回ソフトウエア・アイデアコンテストでは、見事グランプリを受賞しました。デジタル世代の一人である増渕さんに、パソコンの未来を聞いてみました。

21世紀へ前進する海老名⑥

「小学校4年生の時に田が仕事用に買ってきたパソコンでゲームをしたのが最初の出会いです。そのうちに『使っている』のは自分なのに、パソコンに『使われている』という不満が出てきたんです。不満を解消するには自分のプログラムでパソコンを動かすことだと思い、小学校6年の時、本格的にプログラムに取り組みました。この気持ちが増渕さんの原動力になり、太陽と地球の動きをシミュレートするプログラム、自分のパソコンを他人が使えないようにする暗号プログラムなど多様なプログラムを作成してきました。増渕さんはプログラマーは「アイデア」が大切であるとされています。「アイデアがなければパソコンを使われてしまいます。アイデアだけでも実現できなければだめなんですね。だから、そのアイデアを実現する知識と技術を得したい。そして既存のプログラマーに独自の考えを加えて自己的を作り上げたい。さらに「パソコンを使うこと自体が目的ではなく、パソコンの新しい使い道を考えること、もっと生活に密着した利用法をと考えています。今、趣味のクラシックギターと一緒に合わせて、伴奏を任せたりとか考えているんです」。

アメリカのソフトウエアメーカーから、「生徒手帳」は高い評価を受け、英語化の相談も受けています。「チャンスがあれば海外に出てみたい。アメリカには優秀なプログラマー(プログラムを作る人がたくさんいます。自分もそんな人たちと肩を並べてみたいですね)。これから21世紀をむかえるにあたって、パソコンは進化を続け、いつそう私たちの生活に密着していくことでしょう。そんな中で、私たちパソコンを使う側が、より身近に感じることができるかどうかは、増渕さんのような未来のプログラマーの「アイデア」にかかっているといつてもいいのかもしれません。



市長・市議選挙を同日に =投票は11月14日(日)=

思いつくままに 学ぶ意欲

「生涯学習の必要性」が強く叫ばれ、最近ではそれなりに定着してきています。いつでもどこでも学べる場の提供は、行政の責務であると思いませんが、最も大切なことは、「自ら学ぼう」という意欲があるかないかということです。

生活に必要な技術の習得・ときには生きがい・楽しみなど人それぞれだと思います。私事で恐縮ですが、私の義兄はもともと器用な人でもあります。定年退職後、自分の家庭木づらは自分の手で、という気持ちからだ

「生まれた」

「

● 国民健康保険税の納期が10回に変更
今まで、年6回でお支払いしていただいていましたが、納税しやすい環境整備の一環として、国民健康保険税の支払い回数が今月から10回に変更となります。平成11年度納期は、次の通りです。

第1期 平成11年6月30日
第2期 平成11年8月2日
第3期 平成11年9月30日
第4期 平成11年10月30日
第5期 平成11年11月30日
第6期 平成11年12月27日
第7期 平成12年1月31日
第8期 平成12年2月29日
第9期 平成12年3月31日
第10期 平成12年12月27日

お支払いは、便利な口座振替をご利用ください。

問い合わせ 保険年金課(内63)

富士ふれあいの森で 親子キャンプ 参加者募集

富士の大自然の中で、親子のきずなを深めませんか?

夏休みの1泊2日 富士のすそ野の「富士ふれあいの森」

のアウトドアプログラムで新しい体験や感動を共有して、親子のきずなを深めましょう。

親子(1組3人以内)子どもは小学生のみ

の参加費 40人



(中央、小林祐司・泉さんの長男=11カ月)



(河原口、岩崎祐司・利嘉さんの長男=11カ月)



(上今泉、鬼海仁・真由美さんの3男=1歳)



(下今泉、羽太鉄雄・香澄さんの長女=11カ月)



(杉久保、金指太一郎・芳子さんの長男=11カ月)

小林
拓海
わちやん岩崎
皓太
ちやん鬼海
洋佑
ちやん榎本
碧
ちやん羽太
杏香
ちやん若林
和真
ちやん金指
慶成
ちやん林
夏希
ちやん

まんまる赤ちゃん



▲高く上がってくれるかな?

今年で15回目を迎える「親子たこあげ大会」。中野多目的広場に集まった35組89人が、思い思いに工夫を凝らしたたこを上げて親子の絆を深めていました。

フォトピック

◀大満足の「ズーラシア」

好天に恵まれた市老連のバスハイク。訪れた「よこはま動物園・ズーラシア」では珍しい動物を眺めたりお弁当を広げたりと、351人の会員は大満足。



◇もう一度ご連絡を…

「まんまる赤ちゃん」に掲載の申し込みをされた方で、まだ掲載されていない方は、お手数ですが広報広聴課(内271)までご連絡ください。



▶あつぼくの絵あそこだ!

5月8・9日、市民ギャラリーで市内9保育園の児が描いた水彩画や版画の絵画展が開かれました。自慢の作品25点を前に、子どもたちも大はしゃぎ。

自由

▶ボールさばきも軽快に
「少年少女スポーツ教室」のフットサル競技。参加した46人の小学生は、サッカー用より小さくて弾みにくいボールにもすぐ順応。軽快なボールさばきを披露していました。



今月のプロフィル

友情が支えた『花のスケッチ』

菊田由子さん



病院のベッドで制作を続ける菊田さん

5月16日、中新田公民館で「花のスケッチ」という水彩画の小さな展覧会が開かれ、色鮮やかな草花をいねいな筆致でとらえた30点の作品が飾られました。作者は、中新田在住の菊田由子さん。菊田さんは7年前から奇跡的に右手が動くようになつたため、リハビリを兼ねて、病院のベッドの上で少しずつ絵筆をとる毎日が始まりました。

「以前にも水彩画の教室に通っていましたが、現在は入院中なので画題は専らお見舞いにいただいたお花です。最初は思うように筆が運ばず泣いたこともあります。しかし、茶道・座間室弘社中の友人たちが「これまでぜひ描いてください」と花を手に訪れる回数が増えると、「上手に描こう」という欲が出て、楽しいと思えるようになりました。描いた作品が気に入つて持ち帰る方もいて、すごく励みになります」

リハビリの絵で展覧会

増渕さんが所属するパソコン部の力作、海老名高校のホームページがインターネットに公開されています。

編集後記

mhn.or.jp/~ebikouです。増渕さんの「生徒手帳」に興味を持つ方も、ぜひこのページをご覧になってください。(大)